

発言No. 22

受付No. 1

令和 2 年 11 月 2 日
10 時 20 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 21番

氏名 澁谷幹雄

答弁を求める者 市長 教育長

発言項目及び要旨

1 「消滅可能性都市」浜田市の現状認識について

- ① 2014年、浜田市は日本創生会議から、「消滅可能性都市」と指摘された。あれから6年経って、現状認識を尋ねる。
- ② この6年間にどのような対策を実行されたのか、尋ねる。

2 コロナ禍における市民救済策について

これまでのコロナ禍での浜田市の市民救済策の評価と今後の支援策をどう進めようと考えているのか、尋ねる。

3 内閣府の「結婚新生活支援事業」60万円の取組について

今回国は、補助割合を3分の1から、3分の2に拡大する、と報道されている。全国の自治体での取組はこれまで15%ほど、とのことだが、来年度浜田市はこの事業に対して取組の準備を進めているのか、尋ねる。

4 「はまチャレ」に基づくまちづくりについて

「はまだ健康チャレンジ事業」は、高齢化の進む浜田市にとって、21世紀における健康長寿、介護保険料や医療費の抑制に向けて、地味ではあるが活気的な事業だ。しかしこの事業の成果を高めるためには、この事業と連動したまちづくりが必要に思う。浜田市のまちづくりに対する考えと都市計画を尋ねる。

5 浜田市のオンライン教育の取組の準備について

小中学生に対して、一人一台のタブレットが配布されるが、来年度スタートする浜田市のオンライン教育の準備状況を尋ねる。

以上